

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「探求現代の国語」(桐原書店)						
副教材等	『正しく読み・解くための力をつける現代の国語』(数研出版) 『トータルサポート新国語便覧』(大修館) 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP 2500 三訂版』(いっぴな書店)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・様々な文章に触れることで「読解力」を向上させるとともに、批判的に読み進めていくことで「多角的なもの見方」ができるようにしたい。
- ・副教材等を用いて学習をサポートし、家庭学習の習慣を身に付けたい。
- ・グループワークやペアワークを取り入れ、他者の意見を聞くことで「深い学び」につなげたい。

2 学習の到達目標

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	<p>評論Ⅰ</p> <p>[教材] 言葉の力 大岡信</p>	<p>a: 具体的なエピソードと筆者の主張との関係について理解している。</p> <p>b[書]: 本文の読み取りをもとに、構成や表現を工夫しながら文章にまとめることができる。</p> <p>c: 自分の考えをまとめる中で、自らの言語生活を見つめ直している。</p>	<p>定期考査 小テスト</p>	<p>定期考査</p>	<p>課題</p>
	<p>評論Ⅱ</p> <p>[教材] サイボーグとクローン人間 山崎正和</p>	<p>a: 接続語の働きに注意して、比較対照されている内容を正確に理解している。</p> <p>b[読]: サイボーグとクローン人間の違いについて、「製作法」「人々の反応」「人間の考え方や生き方への影響」の三点から的確に捉えている。</p> <p>c: 科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を、自らの知見に照らしながら考えている。</p>	<p>定期考査 小テスト</p>	<p>定期考査</p>	<p>課題</p>
	<p>評論Ⅱ</p> <p>[教材] 読む 外山滋比古</p>	<p>a: 「読む」行為のさまざまな意味を辞書などで調べ、理解している。</p> <p>b[話/聞]: 自らの読書経験の中での「解釈の多義性」にまつわる経験を、相手に伝わるよう表現を工夫しながら話し合いができる。</p> <p>c: 本文を踏まえて、創造的な読みを実際に試みている。</p>	<p>定期考査 小テスト</p>	<p>定期考査</p>	<p>発表</p>
	<p>評論Ⅱ</p> <p>[教材] 〈知〉の深化 神様川上弘美</p>	<p>a: 慣用表現や表記の違いに込められた意図やその効果を理解している。</p> <p>b[書]: 外山滋比古「読む」で述べられた「解釈の多義性」を踏まえ、「神様」というタイトルを自分なりに解釈し、そのように解釈した根拠を説明することができる。</p> <p>c: 全文を音読して、初発の感想をまとめている。</p>	<p>小テスト</p>		<p>課題</p>
	<p>実社会Ⅰ</p> <p>[教材] 問いの立て方とオリジナリティ 上野千鶴子</p>	<p>a: 「一次情報」「二次情報」の定義を理解し、自ら情報を分類できる。</p> <p>b[話/聞]: 自ら問いを立て、その問いについて、本文で示された条件に照らして適当なものであるか、話し合いを通じて検討することができる。</p> <p>c: 「一次情報」「二次情報」の具体例を実際の経験の中に求め、発表している。</p>	<p>定期考査 小テスト</p>	<p>定期考査</p>	<p>レポート</p>
	<p>実社会Ⅱ</p> <p>[教材] 実用的な文章4 求人票を読む</p>	<p>a: 実用的な文章を判別するうえでの4つのタイプを理解している。</p> <p>b[読]: 文章Ⅰ・文章Ⅱを通じて、それぞれの企業の仕事の内容や労働条件を正確に読み取っている。</p> <p>c: 将来自分が働くことに対する自分なりの展望を持ち、自分が選ばれるだけでなく、自分が職場を選ぶという姿勢について、考えを深めている。</p>	<p>定期考査 小テスト</p>	<p>定期考査</p>	<p>課題 発表</p>

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	実社会Ⅱ ----- [教材] 経済の論理／環境の倫理 岩井克人	a:「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 b[読]:「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 c: 環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題
	実社会Ⅱ ----- [教材] 遅れてきた「私」 若林幹夫	a:日本語の多様な一人称について、それぞれの使い分けを理解している。 b[読]:つながりの中で自分は社会の中に存在する、社会的な出来事であることを理解している。 c:同じ時を共有したり、時間の流れを通じたりして形成される自分と社会との関係性について理解し、考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題
	評論Ⅳ ----- [教材] わかれようとする姿勢 鷺田清一	a:「全人的理解」「〈主体－客体〉の関係」「この非対称」など、注意を要する表現を理解している。 b[書]:「他者の理解」において大切なことは何かを的確に読み取り、まとめている。 c:本文中の具体例を通して、「わかれようとする姿勢」とは何かを考えている。	定期考査 小テスト	定期考査	レポート
	評論Ⅴ ----- [教材] 言葉を学ぶとは－「言語ゲーム」の概念 高田明典	a:本文中の比喩表現が指すものを理解している。 b[話/聞]:筆者の主張を踏まえたうえで、「言語の専制」から抜け出し「言葉の世界の主人」となるために大切なことを考え、話し合うことができる c:言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考えている。また、考えたことを話し合いを通じて見つめ直し、さらに深めている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題
	評論Ⅴ ----- [教材] 〈知〉の深化 庭山本文緒	a:本文の場面を時間軸に沿って分類することができる。 b[読]:「母」の生前と死後とで、「父」と「私」の関係性がどのように変化したか読み取っている。 c:全文を音読して、初発の感想をまとめている。	小テスト		レポート
	評論Ⅵ ----- [教材] 歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない 内田樹	a:フーコーの歴史観を本文の叙述に即して理解している。 b[読]:歴史に対するフーコーの根源的な問いかけに対して、筆者が考えるその答えへの糸口を的確に読み取っている。 c:歴史を学ぶ意義について考えたり、題名から受ける印象を発表するなどして、教材への関心を高めている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三 学 期	評論Ⅴ	a: 本文をインタビューによる取材内容と、筆者の考察とに分類できる。	定期 考 査 小 テ ス ト	定期 考 査	発 表
	[教材] 目の見えない人は世界をどう見ているのか 伊藤亜紗	b[話/聞]: 実際に視覚障害者にとつての世界のあり方を追体験し、目が見えているときとの情報の入手のしかたの違いについて気づいたことを、相手に伝わる表現を工夫しながら話し合い、互いに確認し合うことができる。			
	実社会Ⅲ	a: 実用的な文章を読み解く際、タイプに応じた手順を踏むことができる。	定期 考 査 小 テ ス ト	定期 考 査	レ ポ ー ト 発 表
	[教材] 実用的な文章7 新聞記事からバリアフリーを考える	b[書]: 資料をもとにバリアフリーとユニバーサルデザインの違いを整理し、まとめることができる。			
	評論Ⅵ	a: 近代西欧における政治的な対立について、その構造や背景を本文の記述に即して理解している。	定期 考 査 小 テ ス ト	定期 考 査	課 題
	[教材] 思想の出自 井崎正敏	b[読]: 論理の展開を正確につかみ、自分とは異なるものの理解を求める糸口として、思想の出自に着目している。			
実社会Ⅲ	a: 推論の主な類型「演繹的な推論」「帰納的な推論」について、それぞれの定義を理解している。	定期 考 査 小 テ ス ト	定期 考 査	レ ポ ー ト	
[教材] 納税は義務か 大竹文雄	b[話/聞]: 本文で示された「公共財」「所得再分配」などの観点を踏まえて、今後の日本社会をよりよくするために必要な施策を話し合うことができる。				
		c: 本文に関連する日本国憲法の条項や外国の憲法の訳文を読むなどして、教材の内容への関心を高めている。			

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話/聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと/聞くこと … (20) 時間
- ・書くこと … (30) 時間
- ・読むこと … (20) 時間

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 言語文化（数研出版）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく読み・解くための力をつける言語文化（数研出版） ・解法古文単語350（数研出版） ・古文解釈のための総合力を養う完全マスター古典文法<改訂三版>（第一学習社） ・古典文法完全マスターノート 用言編（第一学習社） ・古典文法完全マスターノート 助動詞編（第一学習社） ・精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～（尚文出版） ・精選漢文ノート（尚文出版） 						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・著名な古文および漢文の作品に親しむとともに、文章の概要と要点を把握して、古典作品に対する確かな読解力と広範な知識を身に付ける。
- ・重要な古文単語・文法、漢文の句形を理解し、読解に活かせるようにする。
- ・古典作品読解に必要な基礎力を付けるために、毎時の授業において予習および復習を重視する。
- ・近現代の小説を読解し、作中で表現されている価値観・感受性・思考法などを捉え、作品に親しむ。

2 学習の到達目標

- (a) 古文と漢文を読むために必要な知識・技能を身に付ける。
- (b) 近現代の小説の読解を通し言語感覚を磨くことで、文章の内容・構成・登場人物の心情を理解したり、論理的な思考力・豊かな想像力を場面に応じて活用したりできる。
- (c) ・古典についての理解や関心を深めることによって、感受性や思考力を高め、人生を豊かにする態度を養う。
- ・言葉の価値への認識を深め、生涯に渡り古典作品や小説に親しむとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められるようにする。	論理的な思考力・共感力・豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一 学期	近代小説入門	a: 文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。	定期 考査	定期 考査 ノート	ノート ワークシート
	[教材] 『羅生門』	b[読]: 作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c: 作品世界へ積極的に入り込み、自身の考えを文章にしようとしている。			
	古文入門	a: 古文の世界に親しむために、古文を読むうえで必要な文語の決まりや古文特有の表現などについて理解している。	定期 考査	定期 考査 ノート	ノート ワークシート
	[教材] 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「検非違使忠明」	b[読]: 文章の種類を踏まえ、内容・構成・展開などについて、記述を基に的確に捉えている。 c: 登場人物の行動や心情を捉え、自身の考えを説明しようとしている。また、他者と話し合うことで、説話文学の意義や教訓について粘り強く分析しようとしている。			
	漢文入門	a: 我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。	定期 考査	定期 考査	ワークシート
	[教材] 故事と成語 「狐借虎威」 「朝三暮四」	b[読]: 作品の成立背景や他作品との関係性を踏まえ、作品を深く解釈している。 c: 故事成語の用例を粘り強く調べることで、故事成語と実社会との接点を見出そうとしている。			
随筆(古文)を読む	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。	定期 考査	定期 考査	ワークシート	
[教材] 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	b[読]: 作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c: 粘り強く内容を読み解き、作品の内容・構成・教訓などを理解することで、古文の世界へ積極的に入り込もうとしている。				
二 学期	詩歌入門	a: 詩歌に特徴的な語句や表現を知り、それらの文化的背景についても理解を深め、実際に使用することで、自身の語彙や語感を豊かにしている。	定期 考査	定期 考査 ノート	ノート ワークシート
	[教材] 『サーカス』	b[読]: 作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c: 作品の内容・構成・解釈などについて積極的に話し合うことで、作品世界へ積極的に入り込もうとしている。			
	短歌・俳句入門	a: 短歌・俳句に特徴的な語句や表現を知り、それらの文化的背景についても理解を深め、実際に使用することで、自身の語彙や語感を豊かにしている。	定期 考査	定期 考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 短歌・俳句	b[書]: 自身の体験や思いが効果的に伝わるよう、短歌・俳句の特徴・構成・展開・文体・描写・語句などの表現の仕方、自身の表現法に採り入れている。 c: 短歌・俳句から学んだ表現法を用い、自身で創作を行おうとしている。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二 学 期	物語(古文)を読む	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:平安時代の成人の儀式について進んで調べるなどを通し、背景知識も含めた深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート
	[教材] 『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」				
	歌物語(古文)を読む	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c:地の文と和歌の関係性を粘り強く読み解くことで、本文を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	[教材] 『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」				
	漢文を読む	a:漢文の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景を理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:自身で作品を考察し、その内容を発表しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	[教材] 史伝 「管鮑之交」 「鶏口牛後」				
	日記文学(古文)を読む	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:旧暦・古時刻・旧国名などの古典常識について積極的に調べ、それらを古文の読解に活かそうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 『土佐日記』 「門出」				
	現代小説を読む	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]:作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c:作品世界へ積極的に入り込み、自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「舟を編む」				
随筆(古文)を読む	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[書・読]:「書くこと」において、自身の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類・構成・展開・文体・描写・語句に気を配ることで、表現法を工夫している。また、「読むこと」において、作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品を粘り強く読み解くことで、筆者の機知や心情を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート	
[教材] 『枕草子』 「ありがたきもの」 「雪のいと高う降りたるを」					

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一 学 期	漢詩を読む	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:由来に関し諸説ある漢語「葡萄」・「琵琶」などの語源を調査する活動において、粘り強く取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「静夜思」 「月夜」				
三 学 期	近代小説を読む	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]:作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c:登場人物の心の動きを、時代背景をも含め、的確に把握しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	[教材] 『山月記』				
	中国の思想を学ぶ	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	[教材] 『論語』				
	軍記物語(古文)を読む。	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c:時代背景と絡め登場人物の心情を追うことで、深い作品理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート
[教材] 『平家物語』 「祇園精舎」 「木曾の最期」					

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … (15) 時間
- ・読むこと … (75) 時間

学校番号	2001
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	2・3単位	年次	2年次
使用教科書	「精選 論理国語」 (三省堂)						
副教材等	「論読 評論文」 (浜島書店) 「入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500」 (いっずな書店) 「常用国語便覧」 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章に触れることで「読解力」を向上させるとともに、批判的に読み進めていくことで「多角的なもの見方」ができるようにする。 ・「書くこと」の活動を通して、自分の意見を論理的に表現する力を身に付ける。 ・副教材等を効果的に用いて知識を定着させるとともに、家庭学習の習慣を身に付ける。 ・板書された内容だけでなく、自分自身で気づいたことやポイントなどもノートに記録していく。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・多様な見方, 考え方, 感じ方にふれ, 物事を総合的に捉えることのできる, 幅広い人間性, 豊かな感性と判断力を育てる。 ・自ら学び自ら考える意欲を喚起して, 主体的に生きてゆく力をはぐくみ, 国語の力を育成する。 ・言語事項を総合的に学習し, 国語に関する知識を深めることにより, 国語に対する関心を高め, 国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理国語へのいざない	a: 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]: 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c: 進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「論理力と思考力」 (野矢茂樹)				
	環境問題を考える	a: 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]: 本文を読み関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を読み手に分かりやすく伝えられるよう工夫してまとめている。 c: 進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「人類による環境への影響」 (鷲谷いづみ)				
	論理国語へのいざない	a: 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている b[読]: 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c: 進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「納得の構造」 (渡辺雅子)				
	言葉を見つめる	a: 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]: 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、「言葉」の役割についてまとめている。 c: 進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「記号を使う動物」 (池上嘉彦)				
「情報社会」を生きる	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]: 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題	
[教材] 「ぬくみ」 (鷲田清一)					

※令和4年度以降入学生用

一 学 期	学びを広げる	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c:進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、分析した内容や考察した内容を紹介文にまとめようとしている。		課題	課題
	[教材] 美術作品を紹介しよう				
	生命について考える	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「動的平衡」 (福岡伸一)				
	科学技術と人間	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「AI時代の『人間』」 (堀内進之介)				
	論理国語へのいざない	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	[教材] 「情報の『メタ』化」 (外山滋比古)				
「情報社会」を生きる	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:社会的な話題について書かれた論説文などを読みそれらの内容を基に自分の考えを論述している。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題	
[教材] 「ネット上の発言の劣化について」 (内田樹)					

※令和4年度以降入学生用

三 学 期	「市民社会」について考える	<p>a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>b[読]: 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>c: 進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</p>	定期 考 査 小 テ ス ト	定期 考 査 課 題	課 題
	<p>[教材]</p> <p>『『である』ことと『する』こと』 (丸山真男)</p>				

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … (4 0) 時間
- ・読むこと … (6 0) 時間

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 古典探求（数研出版）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・完全マスター 古典文法（第一学習社） ・古典文法ワークノート（第一学習社） ・新明説漢文（尚文出版） ・解法古文単語 350（数研出版） ・新明説漢文ワークノート（尚文出版） ・みるみる実力アップ 古文2（第一学習社） ・新演習 漢文アチーブ1（桐原書店） 						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・文章の概要やポイントを把握して、確かな読解力と幅広い知識を身につける。
- ・重要古文単語、古典文法、漢文の句形をマスターして、読解に活かせるようにする。
- ・論理的に考える力や想像力をはぐくむために、自分の思考を表現する場を多く設ける。

2 学習の到達目標

- (a) 古文と漢文を読むためにより実践的な知識・技能を身につける。
- (b) 作品の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえながら古典作品を読み、その内容の解釈を深め、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。
- (c) 古典文学の学習を通して伝統の文化の基盤としての古典の重要性を理解し、主体的に学ぼうとする意欲を高める。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	作品の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえながら古典作品を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値を考察する。また関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章をもとに、自分思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	古典の主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探求する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一 学 期	古文(説話)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c: 地の文と和歌の関係性を読み解くことで、本文を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『十訓抄』 「大江山」				
	漢文(故事)	a: 我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 故事成語の用例を粘り強く調べることで、故事成語と実社会との接点を見出そうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『画竜点睛』 「漢文ノート」 p4, 5, 16, 18, 20, 22				
	古文(日記文学)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c: 他作品との関係性を読み解くなかで、本文を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『更級日記』 「物語」				
漢文(思想)	a: 漢文の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景を理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 思想について読み解く中で、その意義や価値を自分なりに理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート	
[教材] 『孟子』 「不忍人之心」 「漢文ノート」 p24, 27, 28					
一 二 学 期	古文(物語)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c: 作品世界へ積極的に入り込み、自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『源氏物語』 「光源氏の君」 「小柴垣のもと」				
	漢文(思想)	a: 我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 作品の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『論語』 「道德斉礼」 『老子』 「小国寡民」 『漢文ノート』 p30, 32, 33, 34				

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二 学 期	古文(評論)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 文章に登場する人物の背景を理解し、深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	[教材] 『無名抄』 「俊成自讃歌のこと」			ノート	
	漢文(史伝)	a: 我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 史実を理解し、物語の世界へ積極的に入り込み理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	[教材] 『鴻門之会』 「剣舞」 「頭髮上指す」 「漢文ノート」 p36, 38, 40, 41				

三 学 期	古文(歴史物語)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 史実を理解した上で、深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	[教材] 『大鏡』 「花山天皇の出家」				
	古文(説話)	a: 古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]: 作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 文章に登場する人物の背景を理解し、深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート
	[教材] 『古今著聞集』 「菅原道真」			ノート	

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … () 時間
- ・読むこと … (80) 時間

学校番号	2001
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	現代文学講読	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	精選「文学国語」 (三省堂)						
副教材等	リテラ 速読レッスン 文学 vol 3 (文栄堂)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 ・「書くこと」「読むこと」の場面を設け、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
--

2 学習の到達目標

<p>(a) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(b) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(c) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会にかかわろうとする態度を養う。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	小説の言葉	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色に注意して内容を解釈している。 c:題名の意味について粘り強く考察し、理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『夜中の汽笛について、 あるいは物語の効用について』				
	小説	a:文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ作品の解釈を深めている。 c:人間が虎になるという設定の効果について考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『山月記』				
	翻訳の言葉	a:人間や言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間や言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
[教材] 『「雪国」の謎』					
二学期	翻案	a:言葉には、創造や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:学習課題に沿って翻案作品を作る。		ワークシート	ワークシート
	[教材] 『ありとぎりぎりす』 『姨捨—翻案作品を作る』				
	評論	a:言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:作品の内容や解釈を踏まえ、言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『小説はどう読めばいいのか?』				
	小説	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	[教材] 『ひよこの眼』				
読むこと・書くこと・語ること	a:人間や言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間や言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート	
[教材] 『想像し物語ること』					

※令和4年度以降入学生用

三 学 期	詩歌	a:心情の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。	定期 考 査	定期 考 査 ワ ー ク シ ー ト	ワ ー ク シ ー ト
	[教材] 『今日』『帰途』	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ作品の解釈を深めている。 c:作者の心情を考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。			
	評論	a:言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	定期 考 査	定期 考 査 ワ ー ク シ ー ト	ワ ー ク シ ー ト
	[教材] 『無常ということ』	b[書]:作品の内容や解釈を踏まえ、言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。			
	小説	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	定期 考 査	定期 考 査 ワ ー ク シ ー ト	ワ ー ク シ ー ト
	[教材] 『鞆』	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ作品の解釈を深めている。 c:作品に込められた意図を考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … (10) 時間
- ・読むこと … (40) 時間

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文 B	単位数	2・3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「現代文 B」 (教育出版)						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」 (大修館) 「漢字マイスター 頻出漢字熟語 3000」 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野・表現形態の作品を広く学び、知識を深め、「読む能力」を向上させましょう。 ・コミュニケーションのための「話す能力」「聞く能力」や、要約・意見文等の「書く能力」を身に付けるため、積極的に課題に取り組み、練習を重ねる。 ・本文通読・語句の意味調べ等の予習を欠かさず、授業では気づいたことや疑問点等書き込んだノート作りを心がけ、ひとりで復習しやすいようにする。 ・課題・提出物は、期限を守って正確なものを出せるようにしましょう。定期考査はもちろん、課されたものを日々きちんとこなしていくための学習計画を立てる。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。 ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解し、表現することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	小説一	教材 「アルプスの少女」	○		◎	◎	○	a:小説のテーマや寓意に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 c:内容を理解し、それに関する自分の考えを説得力のある展開で書いている。 d:各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。本文と『アルプスの少女ハイジ』の関係性を読み取っている。 e:読解に必要な知識が整理できている。	a:観察・自己評価 b:ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート 定期考査 e:観察・ノート
	評論一	教材 「地図の想像力」	○	○		◎	○	a:本文の内容を読解することで、自分自身について見つめ、考えようとしている。 b:表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。 d:「テキストとしての地図」という筆者のとらえ方を読み取っている。 e:評論の構造と読解に必要な知識が整理できている。	a:観察・自己評価 b:ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート 定期考査 e:観察・ノート
	評論四	教材 「文学のふるさと」	○	○		◎	○	a:文学の意義についてさらに思索を深めようとしている。 b:筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。 d:本文中に出てくる例を読解し、理解を深めている。 e:評論読解に必要な実践的用語についての知識がある。	a:観察・自己評価 b:ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート 定期考査 e:観察・ノート

二学期	評論二	教材 「欲望と資本主義」	○		◎	◎	○	<p>a:本文の内容に興味を持ち、構成や論理の展開に注意して主張を読み取ろうとしている。</p> <p>c:表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。</p> <p>d:文章の構成を理解し、論理の展開を把握し、筆者の主張を理解している。</p> <p>e:読解に必要な基礎的な語句に関する知識がある。</p>	<p>a:観察・自己評価</p> <p>b:ノート・自己評価・相互評価</p> <p>c:ノート・自己評価</p> <p>d:行動の観察・ノート定期考査</p> <p>e:観察・ノート</p>
	評論三	教材 「民話と幻想」	○		◎	◎	○	<p>a:筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。</p> <p>c:個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。</p> <p>d:抽象的な表現について、筆者の論理展開に注意しながら、文章の内容を読み取っている。</p> <p>e:新出語句の予習をし、カタカナ語の語彙や知識を増やしている。</p>	<p>a:観察・自己評価</p> <p>b:ノート・自己評価・相互評価</p> <p>c:ノート・自己評価</p> <p>d:行動の観察・ノート定期考査</p> <p>e:観察・ノート</p>
	小説二	教材 「おどる男」	○		◎	◎	○	<p>a:遠い時代の出来事である敗戦直後の日本について主体的に理解しようとしている。</p> <p>c:作品を通して考えたことを、自分の言葉でまとめている。</p> <p>d:人物・心情・情景を読み取っている。</p> <p>e:なじみの薄い語句の意味を、注釈や辞書を参考に正しく理解している。</p>	<p>a:観察・自己評価</p> <p>b:ノート・自己評価・相互評価</p> <p>c:ノート・自己評価</p> <p>d:行動の観察・ノート定期考査</p> <p>e:観察・ノート</p>

三学期	評論四	教材 「〈私〉はどこへ行く？」	○	○		◎	○	a:筆者が考える現代社会における「私」の位置づけを通じて、「自己」について思索を深めようとしている。 b:筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。 d:デジタル時代における「私」とは何かについて理解を深めている。 e:評論読解に必要な実践的用語についての知識がある。	a:観察・自己評価 b:ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート 定期考査 e:観察・ノート
	小説三	教材 「俘虜記」	○	◎	○	○	◎	a:登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学に興味を持って取り組んでいる。 b:作品のテーマや感想などを積極的に発表している。 c:自分の考えを論理的にまとめている。 d:あらすじ・場面の展開を正しくとらえ、主人公の心情の推移を理解している。作品の主題について自分の考えを深めている。 e:日本近代史の流れをおおまかに理解し、作者についての知識を深めている。	a:観察・自己評価 b:ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート 定期考査 e:観察・ノート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力
c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「新精選 古典B」 (明治書院)						
副教材等	「体系古典文法」(数研出版) 「新明説漢文」(尚文出版) 「新国語便覧」(大修館書店) 「重要古典単語315」(桐原書店) 「古典速読トレーニング標準」(数研出版) 「リテラ速読レッスン古文 vol.3」(文英堂) 「リテラ速読レッスン漢文 vol.2」(文英堂)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・文章の概要やポイントを把握して、確かな読解力と幅広い知識を身につける。
- ・重要古文単語、古典文法、漢文の句形をマスターして、読解に活かせるようにする。
- ・基礎力の上に応用力を積み重ねられるように、毎時の授業において、予習と復習を行なう。

2 学習の到達目標

古典への理解を深めることで、考え方や鑑賞能力を深くし、人生を豊かにすることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	古文Ⅱ部 日記／随筆	教材： 【古文】 「蜻蛉日勤」 町の小路の女 「枕草子」 二月つごもり頃に 「速読」	○			◎	◎	a:教材の内容に関心をもち、取り組んでいる。内容や歴史背景に関心をもち、取り組んでいる。 d:本文の構成と和歌の知識を確認し、話の展開を理解している。 e:読解に必要な語彙力、古典常識等の知識を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文Ⅱ部 史伝	教材： 【漢文】 「史記」 四面楚歌 「速読」	○			◎	◎	a:教材の内容に関心をもち、取り組んでいる。内容に関心をもち、取り組んでいる。 d:本文の構成を把握し、話の展開を理解している。 e:読解に必要な漢文の句形の知識を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文Ⅱ部 物語／歴史物語	教材： 【古文】 「堤中納言物語」 虫めづる姫君 「大鏡」 三船の才 「速読」	○			◎	◎	a:歴史的背景をもとに、人物像を的確に捉えて読解に取り組んでいる d:本文の構成を把握し、話の展開を理解している。 e:読解に必要な語彙力、若の修辞法の知識を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
一学期	漢文Ⅱ部 思想	教材： 【漢文】 老子・荀子 「速読」	○			○	◎	a:諸子百家について調べ、内容を深める。 d:道家の思想を整理し、老子・荀子の思想を的確にとらえている。 e:漢文の句形を正しく理解し、現代語訳できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
二学期	古文Ⅱ部 日記／物語	教材： 【古文】 「和泉式部日記」 夢よりもはかなき世の中を 「大和物語」 姥捨山の月 「速読」	○			◎	◎	a:時代背景をもとに、文化や風習の知識を得たのち、物語の内容を的確に捉えて読解に取り組んでいる d:古語の意味を的確に捉え、話の展開を理解している。 e:読解に必要な語彙力、古典常識の知識を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	漢文Ⅱ部 思想	教材： 【漢文】 韓非子 「速読」	○		○◎	a：諸子百家について調べ、内容を深める。 d：法家の思想を整理し、韓非子の思想を的確にとらえている。 e：漢文の句形を正しく理解し、現代語訳できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文Ⅱ部 物語	教材： 【古文】 「源氏物語」 車争ひ 「速読」	○		◎◎	a：時代背景より当時の文化を理解しながら、古典の物語を読解する。 d：内容的確にとらえ、話の筋道を正確に理解している。 e：当時の文化や人々の考え方を現代語訳をしながら理解できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
二学期	漢文Ⅱ部 文章	教材： 【漢文】 「楚辞」 漁夫辞 「速読」	○		◎◎	a 教材の内容に関心をもち、取り組んでいる。内容に関心をもち、取り組んでいる。 d：漢詩の詩形や技法を確認し、話の展開や内容を的確に捉える。 e：漢文の句形を正しく理解し、現代語訳できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	古文Ⅱ部 評論	教材： 【古文】 「難波土産」 虚実皮膜の論 「玉勝間」 師の説になづまざること 「速読」	○		◎◎	a：江戸時代と現代の物の見方の共通点を探りながら読解を進める。 d：話の筋道を正確に読解できている。 e：現代語訳をしながら話の要点を整理しながら理解し、深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認および定期考査 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 d:読む能力 e:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。